

該当する欄に○印を記入してください。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

3	法定	自主
	○	

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和4年6月20日

神奈川県知事 殿



提出者

住所 東京都品川区北品川1丁目30番23号北村ビル201号室

氏名 株式会社植田建設 代表取締役 植田直子

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 03-6712-1042

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和3年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 植田建設	自主管理番号 (2935)
事業場の所在地	東京都品川区北品川1丁目30番23号北村ビル201号室	TEL(連絡先): 03-6712-1042
事業の種類	D一建設業 (具体的には) 職別工事業(設備工事除く)	
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日(1年間)	

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,039.7 t	全処理委託量	2,027.6 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	69.8 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	2,009.2 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

※ 事務処理欄

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

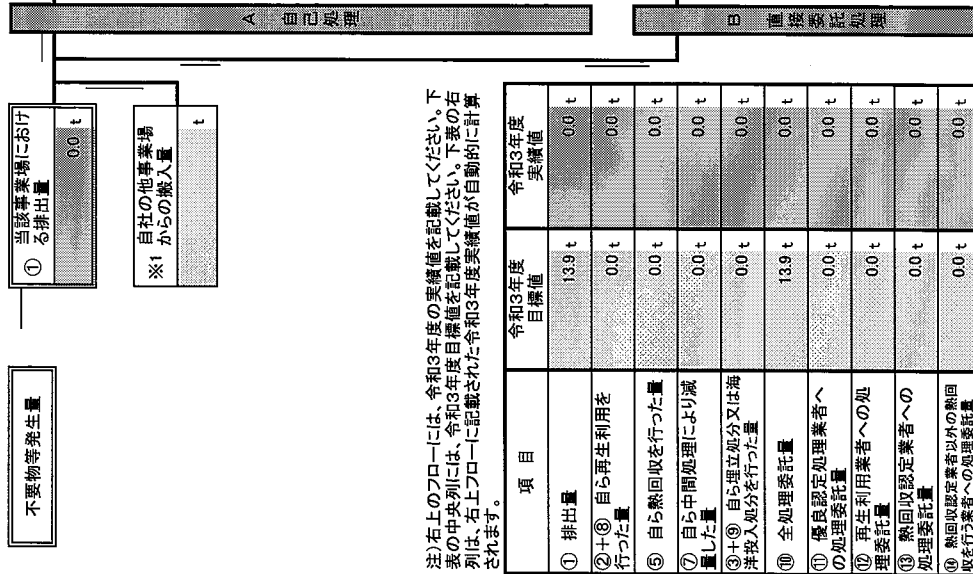
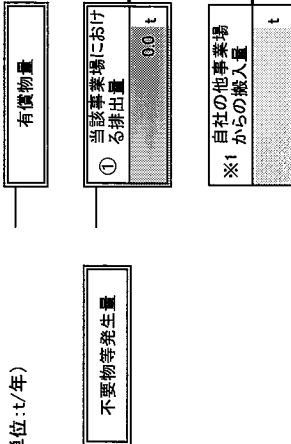
別紙処理フロー

令和3年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	カ. 廃プラスチック類
------------------	-------------

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和3年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和3年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和3年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
① 排出量	13.9 t	0.0 t
②+④ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑤+⑦ 自ら処理処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	13.9 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

該当する欄に○印を記入してください。
3-2 法定 自主

事業場名称：株式会社 植田建設

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

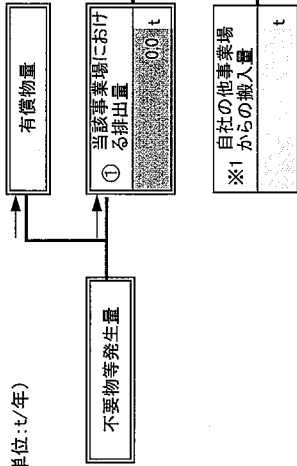
別紙処理フロー

令和3年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

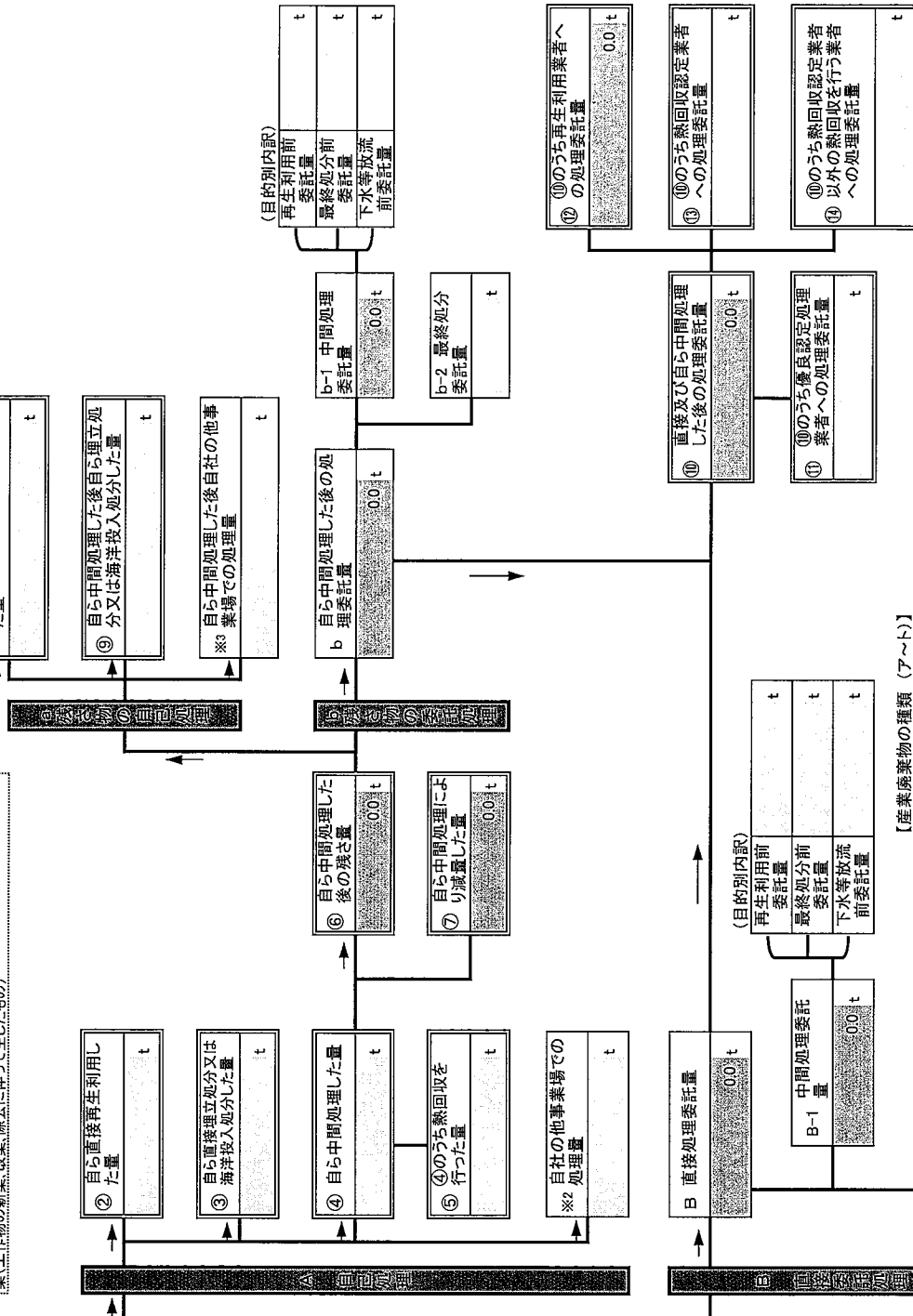
(単位: t/年)



該当する欄に○印を記入してください。
3-2 法定 自主

事業場名称: 株式会社 植田建設

「紙くず」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
【該当業種】パルプ、紙又は紙加工品の製造業、新聞業、新聞巻取紙を使用して印刷発行を行うもの、出版業(印刷出版を行うもの)、製本業、印刷物加工業、建設業(工作物の新築、改築、修繕に伴って生じたもの)。



【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 廃えん
- カ. 繊維くず
- ク. 動物性生残さ
- キ. 廃アルカリ
- ク. 廃えん
- ケ. 廃油
- コ. 廃プラスチック類
- ケ. 紙くず
- ク. 繊維くず
- コ. 動物性生残さ
- シ. コムくず
- セ. カス・コンクリート・陶磁器くず
- ク. 動物の死体
- ソ. ばいじん
- タ. 混合廃棄物その他

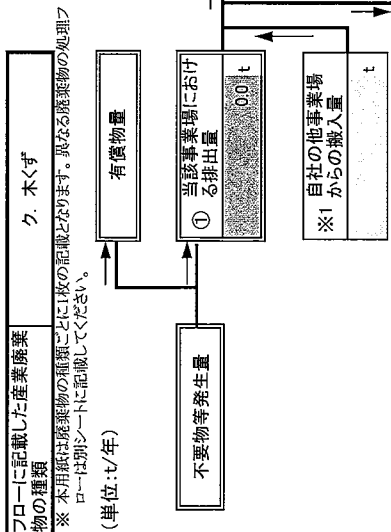
注) 右上のフローには、令和3年度の累積値を記載してください。下表の中央列には、令和3年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和3年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
① 排出量	0.6 t	0.0 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑥ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.6 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.6 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.6 t	0.0 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和3年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果



項目	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
① 排出量	58.9 t	0.0 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	58.9 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	40.8 t	0.0 t
⑬ 再生利用業者への処理委託量	58.9 t	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑮ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

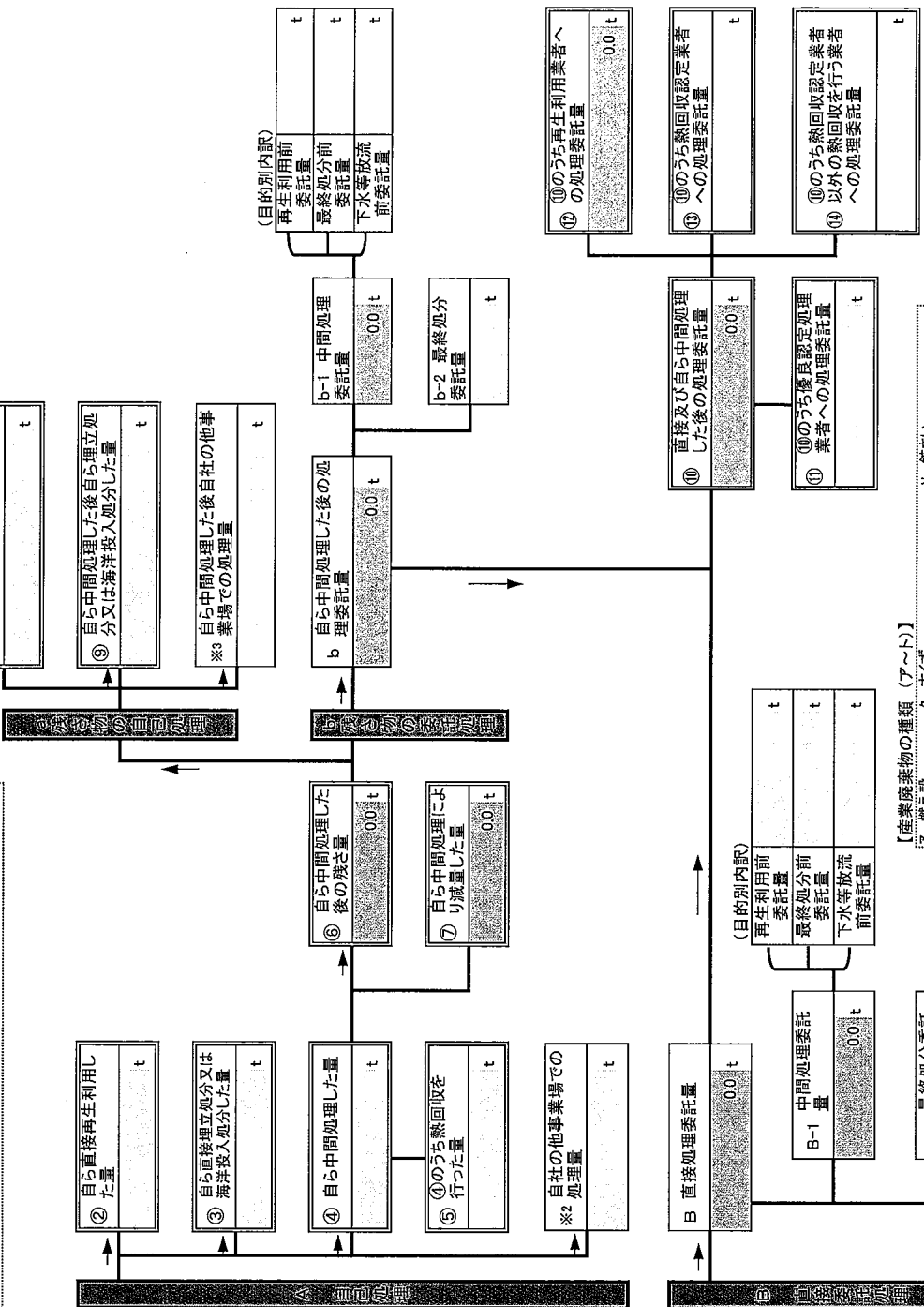
注) 右上のフローには、令和3年度の実績値を記載してください。下の中央列には、令和3年度目標値を記載してください。下の右列は、右のフローに記載された令和3年度実績値が自動的に計算されます。

該当する欄に○印を記入してください。

3-2 法定 自主

事業場名称：株式会社 植田建設

「木くず」には業種指定等が免れ、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
 【除当業種】木材又は木製品の製造業(家具製造業を含む)、ハルプ製造業、輸入木材の卸売業及び物品再販業に属するもの、建設業(工作物の新築、改装、除去に伴って生じたもの)。
 【全業種対象】【貨物の流通のために使用したパレット(レレット)への貨物の積付けのために使用したコンパイル(木箱を含む)】



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ド)】
- ア 燃え殻
 - イ 灰泥
 - ウ 汚泥
 - エ 廃油
 - オ 廃アルカリ
 - カ 廃プラスチック類
 - キ 繊維くず
 - ク 木くず
 - ク 繊維くず
 - ケ 動植物性残さ
 - コ 動物の死体
 - カ 動物の死体
 - シ ばいじん
 - ス コムくず
 - セ 金属くず
 - ソ 鉱さい
 - タ がれき類
 - チ 動物の死体
 - ツ ばいじん
 - ト 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

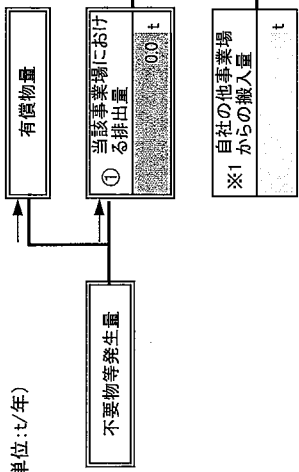
別紙処理フロー

令和3年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類

ケ 繊維くず
 ※ 不用品類は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



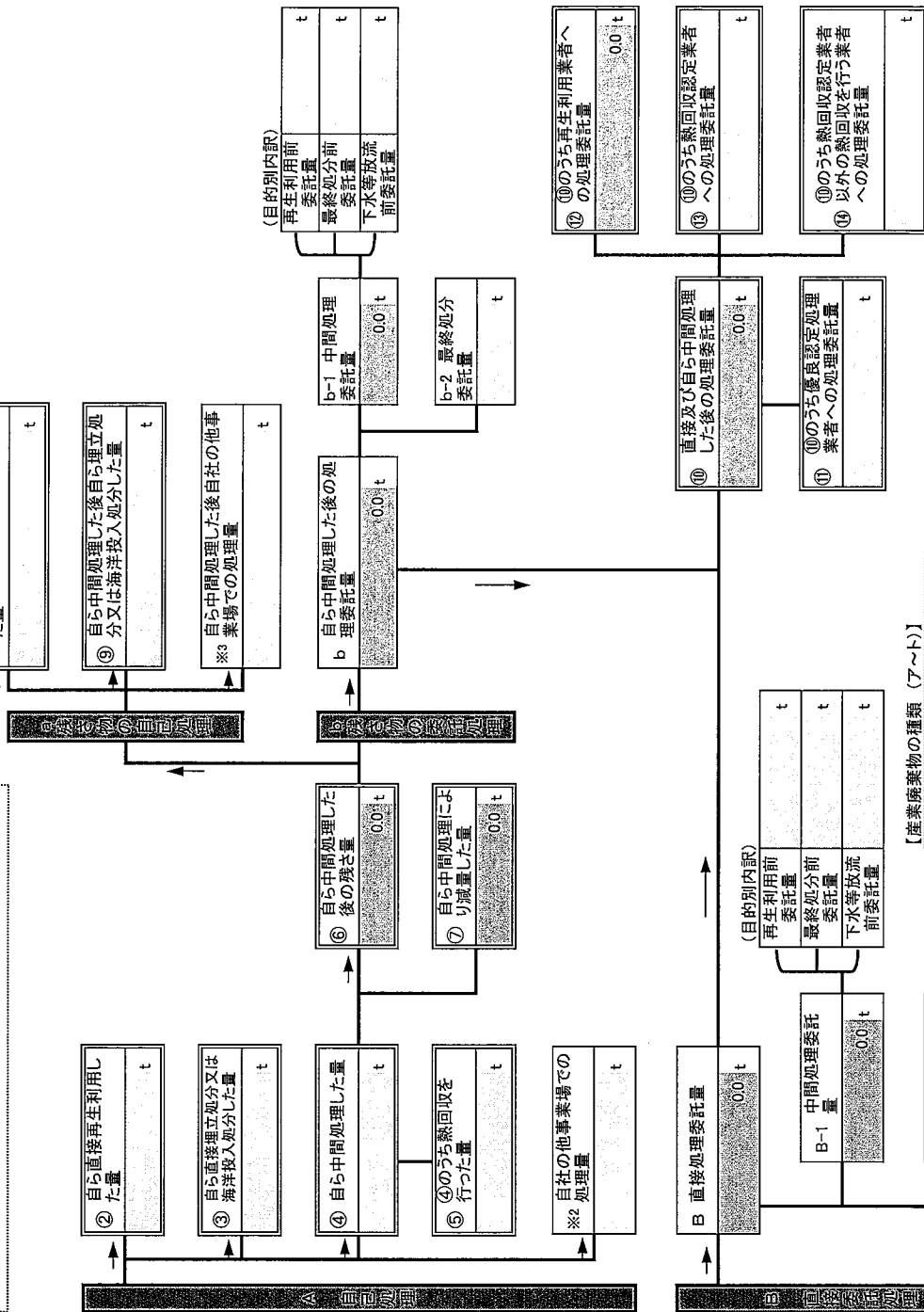
注) 右上のフローには、令和3年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和3年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上のフローに記載された令和3年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
① 排出量	0.2 t	0.0 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理した量	0.0 t	0.0 t
⑨+⑩ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑪ 全処理委託量	0.2 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.2 t	0.0 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

該当する欄に○印を記入してください。
 3-2 法定 自主

事業場名称：株式会社 植田建設

「繊維くず」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。
 【該当業種：繊維工業(衣服その他の繊維製品製造業を除く)、建設業(工作物の新築、改装、除去に伴って生じたもの)】



【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 灰泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 繊維くず
- キ. 繊維物性廃棄物
- ク. 動物死体
- ケ. 動物糞尿
- コ. 石膏
- サ. 金属くず
- シ. 金風くず
- ス. 石膏
- セ. 繊維くず
- ソ. プラスチック類
- タ. 陶磁器くず
- チ. 石膏
- ツ. 石膏
- テ. 石膏
- ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

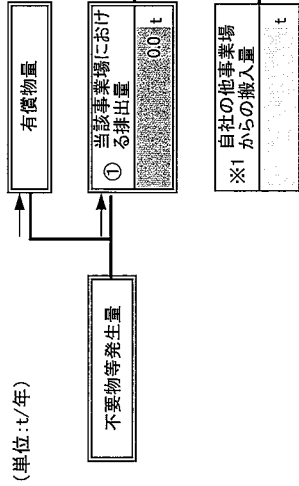
別紙処理フロー

令和3年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類

七. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに口の記載となります。或なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

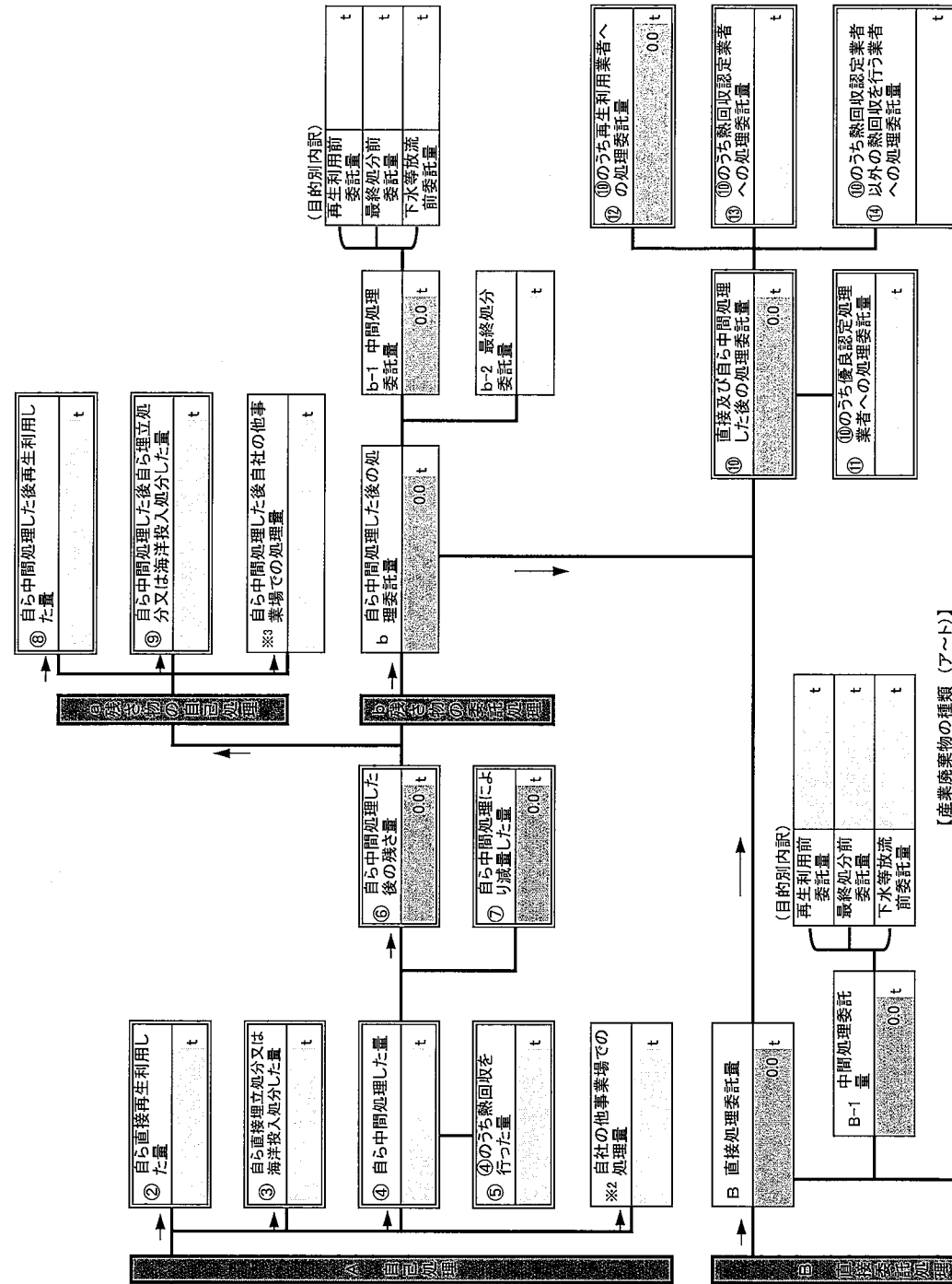


項目	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
① 排出量	19.8 t	0.0 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
④ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ ④のうち熱回収により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑥+⑦ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑧ 全処理委託量	19.8 t	0.0 t
⑨ 優良認定処理業者への処理委託量	19.8 t	0.0 t
⑩ 再生利用業者への処理委託量	19.8 t	0.0 t
⑪ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

注) 右上のフローには、令和3年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和3年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上のフローに記載された令和3年度実績値が自動的に計算されます。

該当する欄に○印を記入してください。
3-2 法定 自主

事業場名称: 株式会社 植田建設



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 繊維くず
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 動物性残さ
 - サ. 動物系固形不燃物
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 灰塵
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

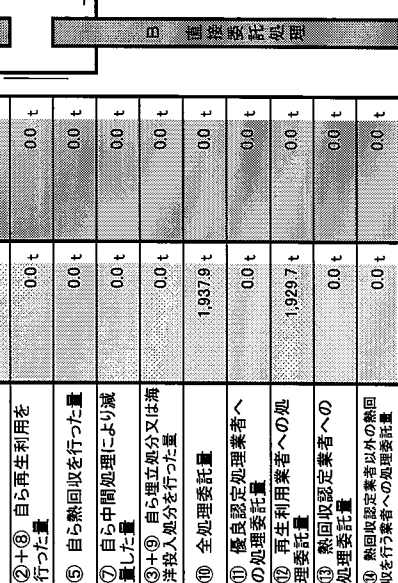
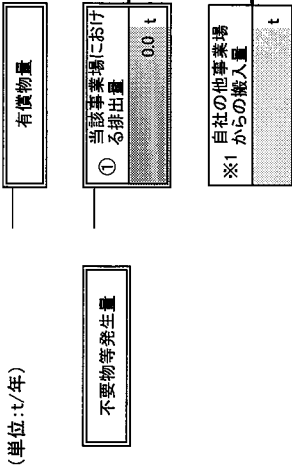
別紙処理フロー

令和3年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類	タ、がれき類
------------------	--------

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

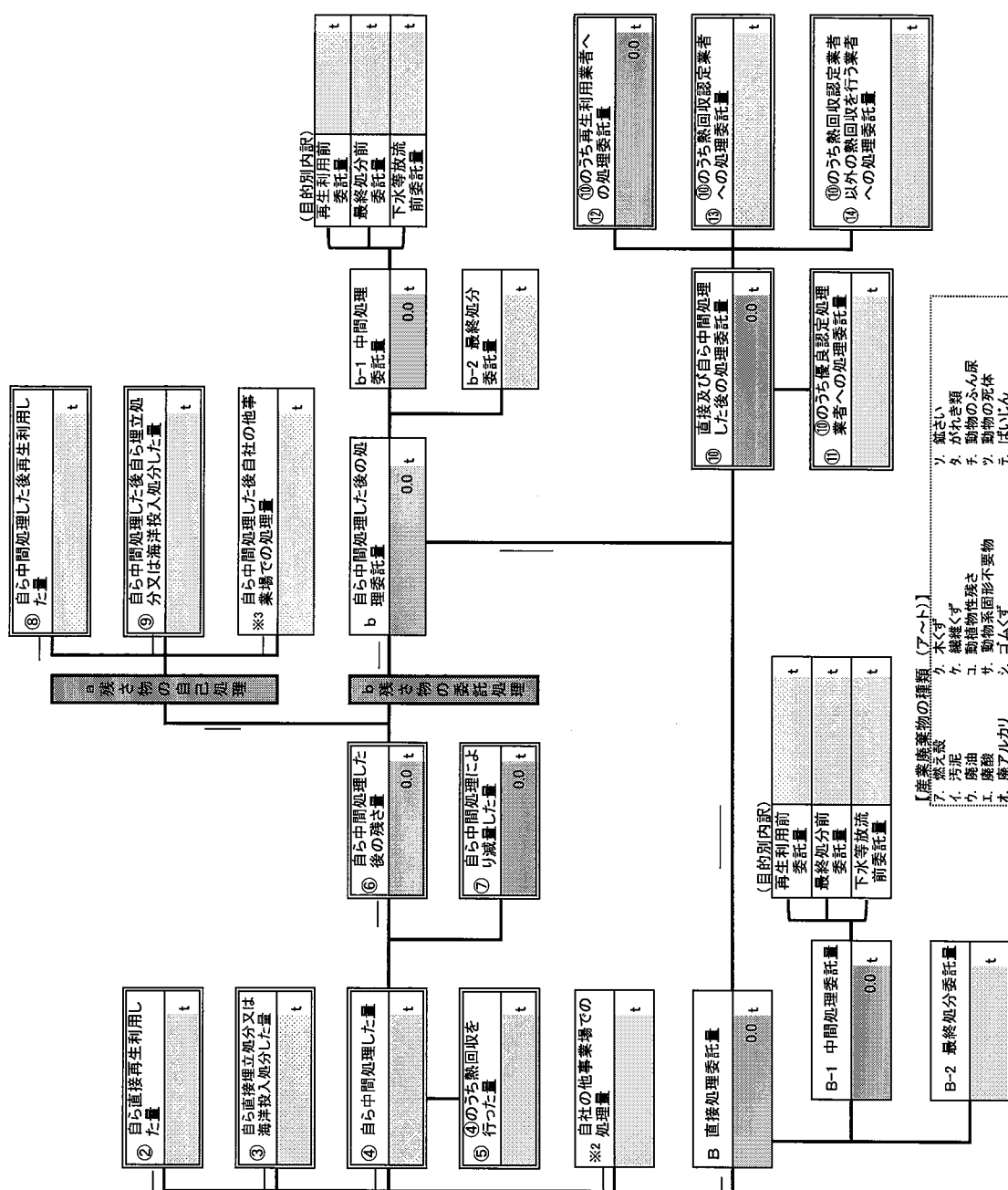


注) 右上のフローには、令和3年度の実績値を記載してください。下表の右側の中央列には、令和3年度目標値を記載してください。下表の右列は、右のフローに記載された令和3年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和3年度目標値	令和3年度実績値
① 排出量	1,937.9 t	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減らした量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	1,937.9 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,929.7 t	0.0 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

該当する欄に○印を記入してください。
3-2 法定 自主

事業場名称：株式会社 植田建設



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - ク. 繊維くず
 - ケ. 紙くず
 - コ. 動物のふん尿
 - サ. 動物の死体
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. カラス・コウライ・胸糞類
 - ソ. ぬい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

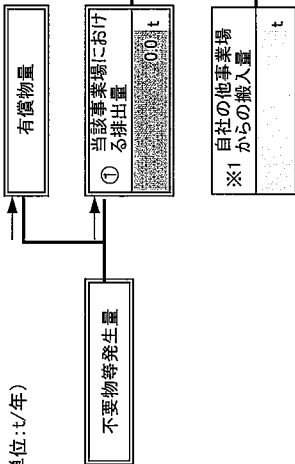
別紙処理フロー

令和3年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類

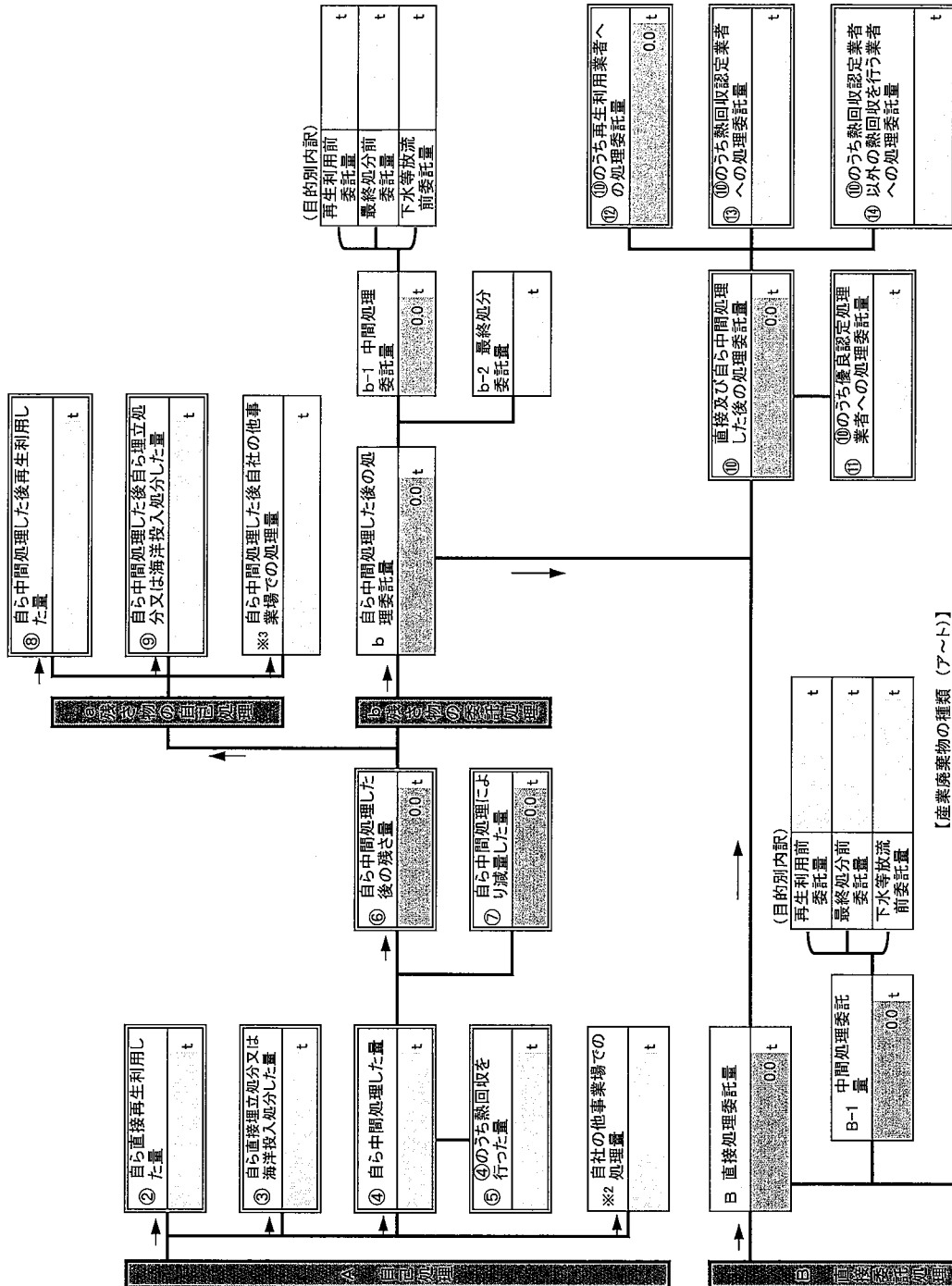
※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



該当する欄に○印を記入してください。
3-2 法定 自主

事業場名称 株式会社 植田建設



注) 右上のフローには、令和3年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和3年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上のフローに記載された令和3年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値
① 排出量	8.4 t	0.0 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理を行った量	0.0 t	0.0 t
⑧+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	8.4 t	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	8.4 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 廃プラスチック類
- キ. 紙くず
- ク. 繊維くず
- ク. 動植物性残さ
- サ. 動物系固形不要物
- シ. ゴムくず
- ス. 金属くず
- セ. カス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ. 灰塵
- タ. がれき類
- チ. 動物のふん尿
- ツ. 動物の死体
- テ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他